

さみどり

二宮町立一色小学校 学校だより
令和4年度 第5号 (3/17発行)



一色小学校は創立57周年となります。

卒業式を来週に控え、今年度もあとわずかとなりました。振り返ると、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、子どもたちは、制限のある中で、自分たちなりの楽しみ方を工夫したり、お互いを思いやったりしながら、前向きに毎日を過ごすことができました。来年度は、これまでの経験を踏まえ、感染症対策と教育活動のバランスをとりながら、子どもたちの成長にとって何が大切かという視点を見失うことなく、授業や学校行事など、様々なことを進めていきたいと思えます。

今年度も、保護者の皆様及び地域の皆様には、子どもたちの安心・安全な登下校の見守り、校内の環境整備や教育活動へのご理解、ご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

6年生を送る会

今年度も、体育館に全校で集まることはせず、前もって撮影した動画を各教室で一斉に見る形で行いました。各学年から、これまでいろいろな場面でお世話になった6年生に対する感謝の気持ちを伝える出し物と、6年生からのお礼の気持ちを伝える映像からは、それぞれの学年の思いや気持ちが十分に伝わってきました。

1年生は、6年生に伝えたい思いや、どのように伝えるかについて、自分たちで話し合い、歌「ありがとうの花」で伝えました。図工で描いた花を持ったり、ダンスをしたり、言葉を書いて伝えたりするなどの工夫も考えました。動画を見直して、さらに良くするためにアドバイスし合うなど、「6年生を送る会」の動画撮影を通して、1年間取り組んできた力を発揮する姿が多く見られました。

2年生は、6年生が2年生の時に踊っていた「U. S. A.」を真似して、何回も練習を重ね、一生懸命に振り付けを覚えました。がんばったポイントは、みんなで踊りを揃えること、6年生にアンケートをとってなぞなぞを作ったところです。一人ひとりが声を出して呼びかけをして、お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えることができました。

3年生は、「6年生にどのような思いを伝えたいか」みんなで真剣に話し合い、6年生のいいところを劇「6年生にキュンです」で再現しました。グルー



プで協力しながら練習を行い、楽しみながら準備を進めて、6年生に喜んでもら

えるような満足のいく動画となりました。6年生に思いを届け、6年生からの思いも受け取り、次の学年でも頑張ります。



4年生は、お世話になった6年生に感謝の気持ちを込めて、映画「メアリーポピンズ」から、幸せになる魔法の言葉が題名になった曲を器楽合奏しました。「一色小学校クイズ」では、自分たちも楽しみながら出題、最後は紙吹雪でしめくくって、お祝いしました。

もうすぐ5年生になるんだという自覚をもって、自分たちで企画・制作をすることができました。



5年生は、劇と替え歌を作って6年生に感謝の気持ちを伝えました。グループに分かれ、劇では6年生の素敵だなと感じた様々な場面や6年生にお世話



になったことを表現し、替え歌はYOASOBIの「祝福」の歌詞をもとに、6年生への感謝の気持ちをのせて作りました。次は自分たちが最上級生です。

6年生は、卒業する自分たち一人ひとりの名前と顔を1～5年生みんなの心に印象付けたいという思いから、自分の特技を披露するグループとメッセージを伝えるグループの2部構成として、下級生に感謝の気持ちを伝えました。何を披露しようか、何を伝えようか、一人ひとりが内容を考え、一人10秒程度ですが、全員が一人ずつクローズアップされ、6年生の思いを伝えることができました。



動画を見終わった後に、映像の世界から実際の場面に戻り、1～5年生が心を込めて書いたお手紙を1年生が6年生へ渡す様子を生中継しました。6年生はお手紙をもらって、とてもうれしそうでした。



在校生は、6年生からのバトンをしっかりと受け継ぎました。6年生は、一色小の卒業生だということを誇りに、中学校でもがんばってください。